

電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(19)(HP 収載) ークロックケーブルー

1. 始めに

前方(18)に引き続き、旭化成の Pulshut を応用したオヤイデの電磁波吸収テープ NRF-005T のクロックケーブルへの適用を検討します。

2. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試験方法

前報(17)までの種々のケーブルへの NRF-005T の適用を行い、さらに前報(18)の結果を踏まえ、今回は、クロックケーブルへの適用を検討することにしました。

クロックケーブルは、クロックリベラメンテが主で、一部 BNC デジタルリベラメンテを流用しています。

クロックリベラメンテや BNC デジタルリベラメンテは LAN リベラメンテと同様、ウールの被覆を被せていますので、前報(17)同様、クロックリベラメンテの特性を損なわないように NRF-005T をリング状に巻いてケーブルを通すだけにします。



リング A

クロックケーブルの使用の現状は次のとおりです。

GPS-777

アンテナ→GPS-777→クロックディストリビューター CCD-6→各機器

A : CCD-6→EMT981

B : CCD-6→EMT981→クロック変換器 CRV-555→DAC-1

C : CCD-6→クロック変換器 CCV-5→DAC-1

これらに対して次のように NRF-005T の適用を行います。



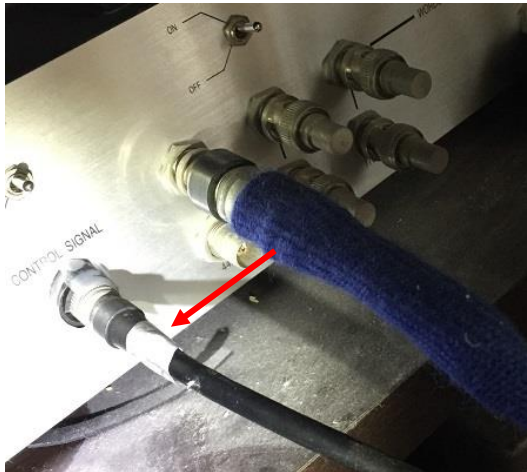
クロックリベラメンテ GPS-777 クロック出力側 (矢印左側)
GPS-777 アンテナ線直貼り (矢印右側)



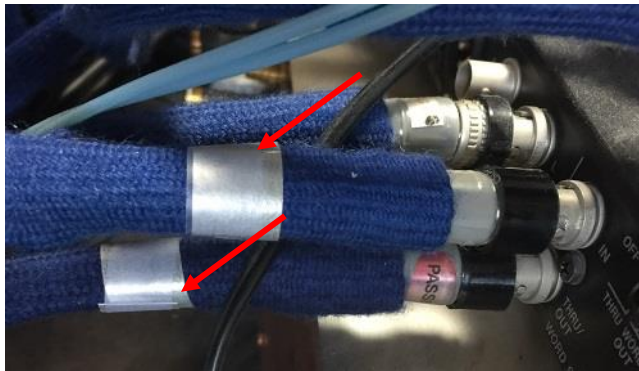
デジタルリベラメンテ EMT981 クロック入力側

ABS-7777

アンテナ→ABS-7777→TASCAM DA-3000→Brooklyn DAC+
これらに対して次のように NRF-005T の適用を行います。



ABS-7777 アンテナ線直貼り



クロックリベラメンテ DA-3000 クロック入力側 (矢印上側)

クロックリベラメンテ DA-3000 クロック出力側 (矢印下側)

音質の評価は、下記の再生で行います。

GPS-777 接続クロックケーブルにおける試聴対象

EMT981 による CD 再生

ABS-7777 接続クロックケーブルにおける試聴対象

STAGE+のストリーミング再生

3. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴結果

最初に上記の NRF-005T の処理なしの状態では聴いておき、上記の NRF-005T の処理の効果を確認します。

CD ドライブからの CD 再生では、下記を試聴しました。ともに演奏会で聴いたものです。

Hyperion CDA67993

ウジェーヌ・イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ

アリーナ・イブラギモア (ヴァイオリン)

ALPHA Classics ALPHA721

ジャン=フィリップ・ラモー他 優しい嘆き他

ジュスタン・テイラー (チェンバロ)

NRF-005T の処理を行いますと、イザイの無伴奏ヴァイオリンソナタは、劇的に音が変わるということはありませんが、胴鳴りの余韻がよりはっきりして、演奏会で聴いてきたイブラギモアのダイナミックなボウイングの様子が蘇ります。

ラモーのチェンバロ曲は、劇的に音が変わるということはありませんが、チェンバロのピックと余韻が明瞭になり、演奏会で聴いてきたテイラーの演奏技法が蘇ります。PC 経由の STAGE+ の再生では、マウリチオ・ポリーニのベートヴェンの後期のピアノソナタのライブ収録とリサ・パテイアシュベリとその仲間達によるシューベルトのピアノ 5 重奏「鱒」を試聴しました。

NRF-005T の処理を行いますと、ベートヴェンのピアノソナタも「鱒」も、前報(18)の PC→Sonica DAC 間 USB ケーブルへの適用の効果を若干上乘せしたような効果で、ピアノの余韻や弦のしなやかさを感じられますが、顕著な効果ではありません。

以上のような顕著な効果とは言えませんが、微妙な表現の変化を感じられた結果は、クロックケーブルが信号線でないためかかかもしれません。

4. まとめ

上記のクロックケーブルへの NRF-005T の処理の効果を認めましたが、さほど顕著な効果ではありませんでした。

以上